

平成30年度

社会人入試学生募集要項

〔社会人教育プログラム〕

横浜国立大学経営学部

添 付 用 紙 (綴込み)

この要項には、次の本学所定の用紙が綴込みで添付されています。

- ① 入学願書・受験票・写真票
- ② 在職証明書
- ③ 志望理由書
- ④ 入学確約書
- ⑤ 振替払込受付証明書（お客さま用）貼付用紙
- ⑥ 入学検定料の払込取扱票
- ⑦ 入試関係書類送付用封筒（本人宛）
- ⑧ 出願書類送付用封筒
- ⑨ 住所氏名記入用紙

目 次

◎経営学部案内	2
1. 概 要	2
2. 社会人教育プログラムについて	2
◎入学者受入方針・教育目標	3
◎社会人入試学生募集要項	5
1. 募集人員	5
2. 出願要件	5
3. 出願期間	5
4. 入学検定料払込期間	6
5. 出願手続	6
6. 障がい等のある入学志願者の事前相談	8
7. 選抜方法	8
8. 合格者の発表及び通知	9
9. 入学手続	9
10. 社会人入試出願者への注意事項	9
11. 本学における個別の入学資格審査について	10
12. 個人情報の取り扱いについて	11

☆社会人入試問い合わせ先

社会科学系経営学務係

TEL 045-339-3663 (平日 9:00~12:45、13:45~17:00)

経営学部案内

(社会人教育プログラム)

1. 概要

本学部は、1967年に設立された東日本の国立大学法人では唯一の経営学部であり、きわめて現代的な視点から研究・教育を行っています。

ビジネス社会では複雑化、情報化、グローバル化が進んでいます。そこで、グローバルな活動・競争のなかでビジネスを位置づけることができる能力（グローバルビジネス即応力）、ビジネスをめぐる課題に対して局所的にはなく全体最適視点で定義し、ソリューションを提案することのできる能力（ビジネス統合分析力）、企業経営の観点から学際的な知を統合し、経済的・社会的価値を創造・普及させることによって社会の変革を実行できる能力（イノベーション力）の育成を目指します。

そうして、特定分野の高い専門性をもつとともに、幅広い専門知識を統合できる「ゼネラリスト」としての能力を養成します。また、大学院博士課程前期・後期、ビジネススクールが併設されていますので、卒業後により高度の専門教育を受けることもできます。

2. 社会人教育プログラムについて

社会人教育プログラムでは、実務経験を前提に、基本的な知識から学修しつつ、一般学生より高度かつ実践的な専門教育を行い、より高度な専門職業人教育の場を提供します。

高度な実務的諸問題を解決できる能力を培うとともに、主体的にキャリア形成を可能にする能力の養成を目指します。そこで、本プログラムでは一般学生のカリキュラムに加え、以下のような独自の教育体系を用意します。

- ① 社会人としてすでに持っている一定の実務経験を活用し、実務で直面する問題の解決を促進する実践科目（フィールドワーク、ケーススタディ、ワークショップ）を設定します。
「フィールドワーク」は、実務上の問題解決のために必要となる情報を実地で収集・整理するための科目、「ケーススタディ」は、特定の業界・企業（そのほか組織全般）に焦点を絞り込み、そこでのベスト・プラクティスを抽出し、まとめあげる科目、「ワークショップ」は、実業界で活躍しているトップマネジメントによる現実の企業の経営戦略に関するセミナーに参加し、理論と実践の融合、生きた経営学を学ぶ科目です。
- ② 研究領域の異なる4名の教員から指導教員1名を選択できる演習により、専門性と実践性を統合した指導を実施します。なお、演習は原則土曜日の開講となります。
- ③ 働きながら通学することに配慮し、通常の平日1～5限の授業に加え、平日6～7限及び土曜日の授業や夏季集中講座を開講します。

入学者受入方針・教育目標

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【横浜国立大学が入学者に求める学生像】

横浜国立大学は、自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語り、柔軟な発想と主体的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会のリーダーとしてグローバルな共生社会に貢献したい人を求める学生像とします。

- 幅広い基礎学力を備え、確かな知識や技能を身につけたい人
- 知的好奇心や科学的探究心を持ち、新たな発見やアイデアを創造する思考力や判断力を獲得したい人
- 社会が直面する諸課題を解決するために、多様な人々と協働して主体的に社会へ参画する強い意志と責任感を持ちたい人
- 国境を超えたグローバル時代において、外国人学生と共にコミュニケーション力を高め、世界を舞台に発信・飛躍したい人
- 大学院に進学し、さらに高度の知識・技能を身につけ、高度専門職業人として社会に貢献したい人

【大学入学者選抜の実施方針】

横浜国立大学の大学入学者選抜は、入学者が高等学校段階までに身に付けた力を、大学が発展・向上させ、社会に送り出す大学教育システムを前提に、学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる入学志願者に求める学力を構成する3つの要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習する態度）を多面的・総合的に評価するものとします。学部、学科・課程（学士の学位を授与する教育課程プログラム）は、高等学校で履修すべき科目等をあらかじめ具体的に明示するとともに、大学入学後の教育課程プログラムとの関連を十分に踏まえつつ、入試方法の多様化、評価尺度の多元化に努めるものとします。

横浜国立大学では、学士課程における教育目標の達成のため、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーに加え、学士課程教育の質保証の方針（教学マネジメント PDCA・ポリシー）を含めた4つの方針について明確化し、公表しています。 <http://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative/>

経営学部入学者受入方針・教育目標

経営学部では、社会の発展に貢献したい意欲的な学生を求めています。

企業は多面的な要素（ヒト、モノ、カネ、情報）と活動（研究開発、調達、生産、販売など）から構成され、複雑化しています。企業や組織の抱える問題に対する答えを出すのは容易ではありません。その答えを探す努力を惜しまない、次のような学生を求めています。

- 企業をはじめとする各種組織の経営に関する問題に興味のある人
- 興味を持ったら、その中の何かに対して疑問を持てる人
- 疑問を持ったら自ら解決に向かって行動できる人
- その過程で困難に出遭っても積極的に立ち向かえる人

【高等学校で学んでほしいこと】

高等学校では、基礎となる数学、英語を始めとして基本科目をしっかりと学んでください。

【教育目標】

経営学の3つの分野（マネジメント分野、アカウンティング分野、マネジメント・サイエンス分野）を基礎から段階的、分野横断的に学び、それらをグローバルな視点から総括します（グローバルビジネス分野）。特定分野の高い専門性をもつとともに、幅広い専門知識を統合できるゼネラリストとしての能力を修得できるカリキュラムにより、次のような人材の輩出を目指しています。

- 経営学の専門知識および経営に関わる事象を多面的に捉え、グローバルな視点からその本質を理解することができる
- 自分の考えを国内外の場面において論理的に表現し効果的に伝えることができる
- 企業経営の観点から学際的な知を統合したうえで、多様な人々と協力して企画を立案し、イノベーションを実行するためのリーダーシップを発揮することができる
- 局所的視点だけでなく全体最適視点に立ち、経営に関わる課題を発見する能力や、課題を科学的に分析・検討し、実践的に解決することができる
- 社会人として経営について学び続ける探究心や、持続的社会的構築を常に考えて行動する高い倫理観と責任感をもつ

平成 30 年度

社会人入試学生募集要項

(社会人教育プログラム)

1. 募集人員

経営学科 社会人教育プログラム 4人

(注) 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

2. 出願要件

次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

【基礎資格】

大学入学資格を有している者(高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者は除く。)

【要件】

次の1から3のすべてに該当する者

1. 平成30年3月31日現在で、年齢が20歳に達し、現に就職し、入学後も就業を続ける意思がある者

(注) 就職にはアルバイト、パート等を含み、労働時間が週平均20時間以上のものに限りません。

2. 平成27年11月以降に実施されたTOEIC又はTOEFLを受験した者で、次の①～③のいずれかに該当する者

①TOEICの得点が443点以上

②TOEFL (ペーパーテスト) の得点が450点以上

③TOEFL (インターネットテスト) の得点が45点以上

(注) TOEIC-IP (団体特別受験制度) 及びTOEFL-ITP (団体向けテスト) による得点は認めません。

3. 合格した場合は入学の確約のできる者

3. 出願期間

平成29年11月1日(水)から平成29年11月8日(水)まで

(出願受付は郵便扱いのみとし、平成29年11月8日(水)17時まで必着のこと)

受付期限後到着のものは受理しないので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。

ただし、平成29年11月7日(火)までの発信局消印のある書留に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

(注)土曜日、日曜日、祝日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。

4. 入学検定料払込期間

出願期間に間に合うように払い込んでください。

払込場所：郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口

注1. 入学検定料の払い込みは、必ず本冊子綴り込みの「払込取扱票」を使用してください。

注2. 土曜日、日曜日、祝日は払い込みができませんので注意してください。

注3. 払い込み済みの「振替払込受付証明書(お客さま用)」は本学所定の貼付用紙に貼り付けて、出願書類と一緒に同封してください。

5. 出願手続

(1) 出願書類

ア 入学願書・受験票・写真票	本学所定の用紙
イ 写 真	2枚 提出前3ヶ月以内に撮影した正面上半身無帽(縦4cm×横3cm)の同一写真を受験票と写真票に貼付してください。
ウ 調 査 書	文部科学省が定めた様式により、出身高等学校長又は中等教育学校長が作成したもの。 (注) 指導要録の保存期間の経過、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位修得証明書等を調査書に代えて提出してください。 <u>これらの証明書等が提出できない場合は、卒業証明書に加えて、学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。</u>
エ TOEIC又はTOEFLの成績証明書	2. 出願要件2. を満たしたもの (注1) TOEICの成績証明書とは、各国のTOEIC運営委員会発行の証明書「Official Score Certificate (公式認定証)」の本紙のことを指します。 (注2) TOEFLの成績証明書とは、Educational Testing Service から直送される証明書「Official Score Certificate (公式認定証)」のことを指します。 ※ 直送の場合における、横浜国立大学のコード番号は「0410」です。 ※ 出願期間内に到着するよう、手続きしてください。 申請から到着までに1ヶ月程度要します。
オ 在 職 証 明 書	本学所定の用紙により、勤務先事業所長等が作成したもの。
カ 志 望 理 由 書	本学所定の用紙に自筆で記入してください。

キ 入学確約書	本学所定の用紙
ク 入学検定料	<p>払込金額 17,000円</p> <p>入学検定料の払い込みは、必ず本冊子綴じ込みの「払込取扱票」を使用してください。</p> <p>注 1. 「払込取扱票」の※に、入学志願者（本人）の住所・氏名・電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。</p> <p>注 2. 「振替払込請求書兼受領証」および「振替払込受付証明書(お客さま用)」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局日附印を確認してください。</p> <p>注 3. 検定料が払い込まれていない場合または払い込み済みの「振替払込受付証明書(お客さま用)」が所定の貼付用紙の欄に貼り付けていない場合は出願を受理しません。</p> <p>注 4. 本学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html をご確認ください。</p>
ケ 振替払込受付証明書(お客さま用)貼付用紙	<p>本学所定の用紙</p> <p>入学検定料を払い込んだ際に郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼付してください。</p>
コ 返信用封筒	<p>本学所定の封筒 1 通</p> <p>この綴じ込みの封筒に住所・氏名等を記入し、所定の切手を貼付したもの。</p>
サ 住所・氏名記入票	本学所定の用紙

※ 調査書、証明書等の提出すべき書類の氏名と現在の氏名が違う場合は、氏名変更したことが分かる公的な書類を併せて提出してください。

(2) 出願書類等の郵送先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 4 号

横浜国立大学社会科学系経営学務係

なお、出願書類は、志願者個々の出願書類を本学所定の出願書類送付用封筒（角形 2 号）に入れ、『書留』で郵送してください。

6. 障がい等のある入学志願者の事前相談

心身の障がい等により、受験及び修学の上で配慮を必要とする場合は、出願前までに必ず社会科学系経営学務係へご相談ください。

また、出願後の不慮の事故などで負傷し、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかにご相談ください。

なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

【代表的な事項】

区 分	障 が い の 程 度
視覚障がい	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障がいが高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障がい	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者

7. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、小論文、面接、志望理由書、在職証明書、出身学校の調査書を総合して行います。

小論文では、経営・経済を中心とした社会科学に関するテーマ（日本語）についての理解度・思考力及び表現力を評価します。

面接では、複数の面接員による個人面接で志望動機と企業経営への興味や学問に対する姿勢などを評価します。

(2) 小論文・面接試験の日時・場所

期 日	区 分	時 間	場 所
平成 29 年 12 月 4 日 (月)	小論文	10 : 00～12 : 00	経営学部
	面 接	13 : 00～	

8. 合格者の発表及び通知

平成 29 年 12 月 14 日（木）13 時ごろに、**合格者にのみ**合格通知書及び入学手続書類等を発送します。

また、本学 Web サイトに合格者受験番号を掲載します。

(URL <http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>)

(注 1) 本学構内における合格者受験番号の掲示発表は行いません。

(注 2) 電話による合否照会には応じません。

(注 3) 掲載期間は、4 日間程度です。

9. 入学手続

社会人入試の合格通知を受けた者は、入学手続を所定の期間内に完了してください。

(1) 入学手続期間

平成 29 年 12 月 18 日（月）から平成 29 年 12 月 25 日（月）まで（必着）

(2) 入学手続方法

ア 入学手続は、すべて郵便扱いにより行います。入学手続をする際は、合格通知書に同封する「入学手続きについて」を参照の上、入学手続期間内に必着するよう所定の封筒を使用して、社会科学系経営学務係宛に「書留・速達」で郵送してください。

イ 入学手続書類の郵送先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 4 号
横浜国立大学社会科学系経営学務係

(3) 入学手続に必要な経費

入学料 282,000 円〔現行〕

注 1. 入学料は、改定される場合があります。

注 2. 詳細は入学手続書類と一緒に送付します。

(4) 入学手続の注意事項

社会人入試合格者が、入学手続期間最終日までに「入学手続」を完了しない場合は、社会人入試合格者としての資格を失います。

(5) 授業料

半期分 267,900 円(年額 535,800 円)〔現行〕

注 1. 授業料は、改定される場合があります。

注 2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料が適用されます。

10. 社会人入試出願者への注意事項

(1) 社会人入試が不合格の場合、大学入試センター試験を受験した者に限り国公立大学について、「前期日程」から 1 つ、「公立大学中期日程」から 1 つ、「後期日程」から 1 つの合計

3つの大学・学部にも出願することができます。

社会人入試不合格者で、本学部が実施する個別学力検査等に出願する場合は、一般の入学者選抜志願者と同様に平成30年1月22日（月）から平成30年1月31日（水）までに
出願手続を行うことにより、個別学力検査等を受験することができます。（個別学力検査等
の出願に際しては新たに検定料を納入しなければなりません。）

ただし、平成30年1月31日（水）までに
出願手続を完了しなかった者は、いかなる理由があっても入学志願者とはみなされない
ので、個別学力検査等を受験することはできません。

（注）大学入試センター試験の受験を要する教科・科目については、横浜国立大学入学者選
抜要項を参照してください。

- (2) 出願書類について、不備がある場合は受理しません。
- (3) 出願後の書類は、一切返還しません。
- (4) 社会人入試の可否に関する電話での問い合わせには一切応じません。
- (5) 出願後に現住所・連絡先等を変更した場合は、必ず経営学務係へ連絡してください。
- (6) 合格者発表から1週間以上過ぎても書類が到着しない合格者は、経営学務係へ問い合わせ
てください。
- (7) 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料は
返還いたしません。

ア 検定料の返還請求ができるもの

- (ア) 検定料を払い込んだが社会人入試に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった
又は出願が受理されなかった）場合
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

イ 返還請求の方法

①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号を明記した「検定
料返還請求願（様式は問わない）」を作成し、必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」を
添付して、経営学務係へ速やかに郵送してください。

送付先 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番4号
横浜国立大学社会科学系経営学務係

11. 本学における個別の入学資格審査について

本学学則第22条第8号に定める入学資格（本学において、個別の入学資格審査により、高
等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者）により出願しようとする者は、本学
への出願前に必ず個別の入学資格審査を申請し、認定を受けて下さい。

この個別審査を希望する者は、本学入試課に返信用封筒（長形3号、92円分の切手を貼付）
同封のうえ、入学資格認定申請書（本学所定様式）を請求して下さい。

- (1) 審査要件（次の①・②いずれにも該当することが必要です。）

- ①専修学校、各種学校その他の教育施設(学校教育法第1条に掲げるものを除く。)において3年以上の学習歴があり、おおむね74単位(2,590単位時間)相当以上(平成11年度以前の入学者にあつては80単位(2,800単位時間)相当以上。単位(単位時間)については、高等学校学習指導要領による。)修得している者。
- ②前号の単位(単位時間)には、おおむね国語(相当する教科を含む。以下の各教科において同じ。)、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語の5教科の単位(単位時間)を含んでいること。

(2)申請期間

郵送受付:平成29年9月26日(火)～9月29日(金)【必着】書留速達に限る

窓口受付:平成29年9月26日(火)～9月29日(金)8:30～17:00(12:00～13:00を除く)

(3)提出書類

- ①入学資格認定申請書(本学所定様式)
- ②調査書(各教科・科目の学習記録等が含まれているもの。)又は、最終出身学校等の卒業証明書及び成績証明書
- ③出身学校等のカリキュラム表等、教育課程が確認できる書類
- ④返信用封筒(長形3号、申請者宛先を明記し、682円分の切手を貼付)

(4)提出先 横浜国立大学学務部入試課

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 (TEL045-339-3121)

12. 個人情報の取り扱いについて

志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究の資料としても利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

注意！！

試験日や下見時に、本学周辺(特に岡沢町バス停から正門までの間にある通路・階段など)や最寄駅(和田町、三ツ沢上町、横浜)で、本学職員を装って受験生を誘導・整理し、受験番号・住所・氏名・電話番号を記入させた後に「現金」を請求する者がいますが、これらの者と本学とは一切関係がありませんので、十分に注意してください。